



KCNews

第85号(平成30年1月)
発行所:葛西建設株式会社
発行人:矢作文弘
<http://kasai-kensetsu.jp/>

新年明けましておめでとうございます。

今回は新春号としまして、社員一同からのメッセージ（昨年の振り返りや今年の抱負について）をお届けします。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

代表取締役 矢作文弘

新年明けましておめでとうございます。

昨年中はいろいろとお世話になり有難うございました。おかげさまで新年を迎えることができました。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

新しい年を迎え、皆様それぞれ今年目標や計画を立てられたのではないのでしょうか。私事ですが、古希を過ぎてまた1つ年齢を重ねる上で、まずは第一に健康という文字が頭に浮かびます。第二には、少しでも仕事を通じてお客様に喜んでいただくことが何よりも大切なことと強く心に刻んでいるところです。そして、社会に対しても奉仕の心を忘れずにこの1年を通して善行を積みみたいと考えています。

昨年も、国内外を通じていろいろなことがありました。外交的には、北朝鮮の核戦争の脅威、そしてアメリカのトランプ大統領の言動など、片時も目を離せない状況が続いています。国内に関しては、天皇陛下の退位の決定、そして安倍内閣の信任、株価の上昇、政治体制の安定といった出来事が世間を賑わせました。

こうした中、今一番大切なのは、物でもお金でもなく、家族全員の健康と笑顔ではないでしょうか。冬の時期には急病やケガ等周りを見渡しても色々な出来事を見聞きしますが、家族同士、心配事を共有して、体に気をつけ、困難を乗り越えていく努力と協力が大事だと思います。

専務取締役 矢作経弘

今年は、耐震補強工事の件数が増えると思われれます。弊社では木造個人住宅からRC造の大規模マンションまで、様々な規模で、様々な工法の耐震補強工事をしてまいりました。

とりわけ店舗など不特定多数のお客さんが訪れる場所で地震や災害が発生した時に、当該建物が一般的な耐震強度に満たない場合や、耐力を軽視した演出、内装等の場合で、お客さんが怪我などの傷害を負った際、建物オーナーや店舗出店者の責任が問われることがありうるといわれています。

そのようなケースに意匠・構造・予算・スケジュールなど多方面の角度から効果的な提案ができるよう、学習を深めていきたいと考えています。

常務 吉田宏

昨年は初めて江戸川区の学校建て替え工事にJVとして参加出来、2020年竣工に向けて進んでおります。

また11月には会社創立記念パーティーを、全社員家族を含めて行い、楽しいひとときを過ごしました。社員一同が一丸となり邁進することが確認できて大変嬉しく思いました。2018年も2017年以上に躍進できて楽しい1年になると確信しております。

深谷泰資

今年も社内木鶏会を通して、相手の意見もよく聞き、自分の意見もハッキリ述べ、対話力に磨きをかけよう！



鈴木信幸

昨年は年初より、従来のお客様からの改修工事が多かった年になりました。メンテナンス工事を地道に施工いたしますと少額ながら予算が合えば100パーセント施工させて頂けており、信頼を寄せて下さることを大変ありがたく感じています。また、昨年は従来のお客様紹介による防水・外壁工事があり、久しぶりに施工管理もしました。

今年は、早々に契約予定の住宅新築工事をぜひとも成約し、戌年ですので、ワンダフルな年にしたいと思います。

工事部長 原田紅児

昨年は、仕事では、1月から3月まではとても忙しく、4月以降だいぶ落ち着いてきましたが、7月から8月10日までは毎年行われている江戸川花火大会の仮設工事があり、とてもハードでした。

花火大会の仮設工事は2007年から2017年まで(2011年度中止)10年間続けてきましたが、10年という節目で他の会社に引き継ぐことになりました。10年前とは仮設の内容も大きく変わり、その都度、来場者の方の安全を一番に考え努めて参りました。終わってみて肩の荷が下りたというかほっとしました。

10年間大きな事故もなく、工事をすることができたのも、この仕事に携わった多くの下請業者のおかげだと深く感謝しています。

昨年末は、役所の現場の追い込みと年明けから始まる現場の段取り等で、日々忙しく駆けずり回っていました。プライベートでは、8月後半に家族で船旅行に行ったことがとても思い出に残っています。

子供もだんだんと大きくなってきたので、あと何回一緒に旅行に行くことができるかな？とたまに考えたりします。今年は、天皇陛下の生前退位など、時代が大きく変わる年になると思われるので、僕もこの変化に乗れるように頑張っていきたいと思います。

工事部課長 系数昌之

昨年は5年ぶりに沖縄に帰りました。5年も経っていると新しい家や店などが出来ていて時代の流れを感じました。また久しぶりに同級生たちと野球をして高校球児だったころを思い出しましたが思うように体が動かずに運動不足を痛感しました。

今年は一級建築士に再挑戦し合格を目指して頑張っていきたいと思います。

山田俊之

去年は運動せず太ってしまい、今までのベルトの穴では閉まらなくなったので、今年も極力体を動かして体重を落としたいと思います。

長代智恵

昨年も耐震やりフォーム工事のご依頼を頂きました。皆様、ありがとうございます。お客様に「工事をやってよかった」とご満足して頂ける様、大切に対応して参りたいと思います。

また、子育てにも少し余裕(?)が出来てきたので、何かに取り組んでみたいと考えております。

土屋智和

昨年は交通事故にあってしまったので、今年も安全運転を心がけたいと思います。



有村典修

去年は、大規模な現場にJVで行くことになったのが、自分の中で一番大きな出来事でした。まだ始まったばかりで、工期も長く、これからが本番の現場です。

規模が大きく、初めての工法も多いのですが、他社の色々なやり方を学び、今後活かしていけるように頑張ります。また、自分が知ったやり方など、参考になる事は会社の仲間と共有し、みんながスキルアップ出来る一年にしたいです。

新沼 佳祐

去年は郵便局の仕事で初めて島に行きました。八丈島と神津島と2つの島に行きましたがどちらも景色がよく空気が澄んでいたような気がしたので仕事とリフレッシュが同時にできたのが印象に残っています。

今年は一級施工管理技士を受ける予定なので勉強を頑張って一発で合格できるように頑張りたいです。

木村恵一

去年はいろいろありましたが特に気になったのは、高校通算111本塁打を打った清宮幸太郎君です。高校野球のレベルが上がる中、100本塁打以上打った選手は2人しかおらずプロの球団に入ったのは清宮君だけです。プロ野球でどのような成績を残すのか野球ファンとしてすごく楽しみです。

今年の抱負は、二級建築施工管理技士を取ることを目標にして頑張っていきたいと思います。

また現場を段取りよくより良い現場を目指していきたいです。

佐々木 敦也

去年は成人式がありました。また、今年は一級建築士が受けられるようになるので、それに向けて少しずつ勉強をしていき、一発で受かるように頑張ろうと思います。

渡邊 龍太郎

去年でやっと20才になり、去年も仕事の面でたくさん目標や勉強になることがあり色々な経験ができた一年でした。他の同世代に負けないように仕事や私生活でも頑張ろうと思いました。

今年去年で失敗したことや先輩、上司に言われたことをきちんと理解して同じ失敗をしないようにまた、もっともっと高みに行けるよう努力し自身自身のスキルアップになる一年になれたらいいなと思いました。

少しでも先輩たちや上司たちに近づけるように頑張ります。

後藤よしこ

2017年は両親が二人共体調を崩し、姉妹3人交代で病院の付き添いや、手術の立会いなどをしました。この件で健康の大事さ、仲間の大切さを改めて実感しました。

2018年は健康に注意して、廻りの方々と協力し合い頑張っていきたいと思います。

林かおる

葛西建設に復帰して1年3ヶ月。まだまだ分からないこともたくさんありますが、少しずつでも仕事を覚えて、また1年楽しく頑張りたいと思います！

